



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月9日

東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ
コード番号 7975

上場取引所

URL <http://www.lihit-lab.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 2020年10月12日

(氏名) 田中 宏和
(氏名) 早川 大介
配当支払開始予定日

(TEL) 06 (6946) 2558

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	4,386	△13.9	257	△3.1	247	1.0	173	6.3
2020年2月期第2四半期	5,094	△1.9	265	△26.5	244	△37.6	162	△30.0

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 98百万円(—%) 2020年2月期第2四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	102.12	—
2020年2月期第2四半期	96.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	12,836	9,411	73.3
2020年2月期	13,192	9,398	71.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 9,411百万円 2020年2月期 9,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△11.4	400	△18.9	400	△18.9	280	△17.0	165.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期2Q	1,907,850株	2020年2月期	1,907,850株
2021年2月期2Q	211,032株	2020年2月期	210,957株
2021年2月期2Q	1,696,848株	2020年2月期2Q	1,697,006株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により内需・外需ともに大きく落ち込み、実質GDP成長率がリーマンショック時を上回る大幅なマイナスを記録するなど、景気の悪化が鮮明となりました。緊急事態宣言の解除後は経済活動再開の動きが広がり、足元の景気は個人消費や輸出を中心に持ち直しつつあるものの、ウイルス感染は未だ収束の見通しが立たない状況にあり、景気の回復は緩やかなペースにとどまるものと思われまます。また、海外でも新興国を中心に感染拡大が収まらず、世界経済の回復が遅れることも懸念されます。

当業界におきましては、コロナ禍の影響で企業のデジタル化が加速度的に進展しており法人需要が大きく変化している一方で、女性や若年層を中心とした個人需要の高まりから、付加価値の高い製品や従来型の事務用品の枠にとらわれない製品が求められる傾向が強まっております。その結果、販売チャネルも専門小売店から量販店・通販へのシフトが一段と進んでいくとともに、海外マーケットへの販路拡大も強化されていくものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、お客様に喜ばれる製品・機能性やデザイン性に優れた魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、国産帆布を使用した「HINEMO(ヒネモ)シリーズ」や軽やかではじけるイメージの「CUBE FIZZ(キューブフィズ)シリーズ」が新たにラインナップされたほか、ワーキングシーンをスマートにサポートする「SMART FIT ALTNA(スマートフィットオルトナ)シリーズ」が新アイテムを拡充させて売上を伸ばしました。

またウイルス感染の予防アイテムとして、医療・教育現場のほか日常生活でも使いやすい「フェイスシールド」を2タイプ開発し、販売開始するとともに一部製品を自治体に寄付いたしました。

既存製品の中では、机収納シリーズの「机上台」、「ルーパーファイル」、「カラークリヤーホルダー」等が引き続きご好評をいただきました。

しかしながら事務用品等事業につきましては、このような新製品の積極的な投入が売上に貢献したものの、コロナ禍の影響による既製品の落ち込みをカバーし切れず、前年同期比減収となりました。

一方で不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率が引き続き良好な水準で推移するとともに、賃料単価の確保にも努めたことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,386百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

利益面につきましては、売上高減少の影響が大きかったものの、利益率の改善と経費削減に注力したことにより、営業利益は257百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益は247百万円(前年同期比1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は173百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ェ イ ル	1,311	29.9	△14.5
バインダー・クリヤーブック	1,016	23.2	△4.1
収 納 整 理 用 品	1,434	32.7	△19.0
そ の 他 事 務 用 品	392	8.9	△23.7
事 務 用 品 等 事 業	4,153	94.7	△14.9
不 動 産 賃 貸 事 業	232	5.3	7.7
合 計	4,386	100.0	△13.9

[事務用品等事業]

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は1,311百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は1,016百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

<収納整理用品部門>

ペンケース、机上台、クリアケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は1,434百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、オートパンチ、ペーパードリル、カルテフォルダー等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は392百万円(前年同期比23.7%減)となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は4,153百万円(前年同期比14.9%減)となり、営業利益は166百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸事業は、本社ビルのテナント稼働率が引き続き良好な水準で推移したこと等により、売上高は232百万円(前年同期比7.7%増)となり、営業利益は91百万円(前年同期比35.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ356百万円減少し、12,836百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金、減価償却による有形固定資産、時価の下落等による投資有価証券がそれぞれ減少したことによるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ369百万円減少し、3,424百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、借入金がそれぞれ減少したことによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、9,411百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加等によるものであり、この結果、自己資本比率は73.3%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ386百万円増加し2,065百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、702百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、61百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、253百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期通期連結業績予想につきましては、2020年10月5日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。詳細につきましては、2020年10月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,679,302	2,065,510
受取手形及び売掛金	1,706,734	1,133,503
電子記録債権	322,127	300,976
商品及び製品	1,742,828	1,831,827
仕掛品	126,860	85,579
原材料及び貯蔵品	558,712	584,944
その他	79,838	56,313
貸倒引当金	△4,124	△2,887
流動資産合計	6,212,279	6,055,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,485,580	2,403,807
機械装置及び運搬具(純額)	257,573	225,532
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	89,655	104,868
有形固定資産合計	5,757,989	5,659,388
無形固定資産	18,051	14,850
投資その他の資産		
投資有価証券	814,242	740,067
その他	396,441	372,141
貸倒引当金	△6,075	△5,712
投資その他の資産合計	1,204,608	1,106,496
固定資産合計	6,980,650	6,780,735
資産合計	13,192,929	12,836,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,282	247,375
電子記録債務	279,617	276,815
短期借入金	610,000	498,000
未払法人税等	73,737	84,219
賞与引当金	135,248	107,762
役員賞与引当金	14,450	12,000
その他	399,457	377,346
流動負債合計	1,839,793	1,603,518
固定負債		
長期借入金	530,000	474,000
繰延税金負債	90,451	60,107
役員退職慰労引当金	185,600	178,216
退職給付に係る負債	871,122	820,966
その他	277,626	288,082
固定負債合計	1,954,799	1,821,372
負債合計	3,794,593	3,424,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,178,416	6,266,862
自己株式	△400,868	△400,981
株主資本合計	9,019,409	9,107,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,342	252,413
繰延ヘッジ損益	21,503	△3,091
為替換算調整勘定	103,562	97,161
退職給付に係る調整累計額	△50,482	△42,614
その他の包括利益累計額合計	378,926	303,868
純資産合計	9,398,336	9,411,611
負債純資産合計	13,192,929	12,836,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	5,094,721	4,386,739
売上原価	3,376,751	2,873,079
売上総利益	1,717,970	1,513,659
販売費及び一般管理費	1,452,189	1,256,108
営業利益	265,781	257,551
営業外収益		
受取利息	73	32
受取配当金	9,731	10,573
受取保険金	6,696	8,718
雑収入	4,417	3,000
営業外収益合計	20,918	22,323
営業外費用		
支払利息	3,749	4,186
支払手数料	3,336	1,621
為替差損	26,002	22,335
雑損失	9,044	4,612
営業外費用合計	42,132	32,756
経常利益	244,567	247,119
特別損失		
固定資産廃棄損	5,124	204
特別損失合計	5,124	204
税金等調整前四半期純利益	239,442	246,915
法人税等	76,494	73,624
四半期純利益	162,948	173,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,948	173,290

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	162,948	173,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,580	△51,929
繰延ヘッジ損益	△40,421	△24,595
為替換算調整勘定	△12,132	△6,400
退職給付に係る調整額	8,257	7,867
その他の包括利益合計	△187,876	△75,057
四半期包括利益	△24,928	98,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,928	98,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	239,442	246,915
減価償却費	170,041	162,013
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△200	△1,236
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	412	△38,819
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,311	△7,384
受取利息及び受取配当金	△9,804	△10,605
支払利息	3,749	4,186
固定資産廃棄損	5,124	204
売上債権の増減額(△は増加)	341,898	594,382
たな卸資産の増減額(△は増加)	447,551	△82,309
仕入債務の増減額(△は減少)	△250,556	△81,192
その他	88,550	△43,894
小計	1,038,521	742,259
利息及び配当金の受取額	9,804	10,605
利息の支払額	△3,734	△4,203
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△113,690	△45,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	930,900	702,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△242,372	△56,147
無形固定資産の取得による支出	—	△656
投資有価証券の取得による支出	△635	△650
その他	△11,829	△4,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,836	△61,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△153,000	△168,000
自己株式の取得による支出	△220	△112
配当金の支払額	△101,184	△84,574
その他	—	△690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,405	△253,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,466	△1,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	620,191	386,208
現金及び現金同等物の期首残高	1,271,973	1,679,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,892,165	2,065,510

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染拡大や長期化による不確実性が高い状況にあり、今後の拡大や収束時期等を予測することは困難なことから、今後、当連結会計年度の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、当社グループは、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,878,530	216,191	5,094,721	—	5,094,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	891	891	△891	—
計	4,878,530	217,082	5,095,612	△891	5,094,721
セグメント利益	198,523	67,257	265,781	—	265,781

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,153,868	232,870	4,386,739	—	4,386,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	967	967	△967	—
計	4,153,868	233,838	4,387,706	△967	4,386,739
セグメント利益	166,369	91,182	257,551	—	257,551

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。